

中部地方整備局・愛知県・名古屋市と 技士会現場技術者との意見交換会（R2.10.7）

令和2年10月7日（水）午後1時30分から名古屋市中区丸の内アイリス愛知2階コスモスの間において「働き方改革」・「生産性の向上」をテーマに現場技術者と中部地方整備局、愛知県建設局、名古屋市緑政土木局の参加で4回目となる意見交換会が開催されました。

この意見交換会は平成29年から毎年、愛知県土木施工管理技士会所属の現場技術者の生の声を発注者である中部地方整備局、愛知県、名古屋市に届ける場として開催しているものです。令和2年度の意見交換会はCPDS3ユニットの認定講座でした。

意見交換会開催に先立ち、愛知県土木施工管理技士会の山田祥文会長続いて出席いただいた中部地方整備局稲葉技術調整管理官、愛知県建設局上田建設企画課長、名古屋市緑政土木局小島技術指導課長から挨拶があり、意見交換に入りました。



上田愛知県建設企画課長



山田会長



小島名古屋市技術指導課長



稲葉技術調整管理官

意見交換会は若手の技術者、女性の技術者、若手を指導する立場の技術者及びICT経験者の計9名が参加し、現場で実際に直面する問題点、改革への提案や意見が活発に出されました。



出席者



出席者



出席者



出席者

意見交換ではまず、週休二日制の実態については、「民間であっても週休二日制をしっかりと取り入れていこうとしているが、温度差がある」「決められた工期内に作業を終えなければならないので、それが原因で休みが取れない。」「学生からは週休二日制の質問が一番多い。担い手確保の観点からも週休二日制の平準化が必要ではないのかと思う。」といった意見が出されました。

中部地方整備局からは、「週休二日は世の中の流れとしてあたり前なこととして見ているのかなと感じた。問題なのは職人さんの日給月給とか適正な工期とかがあると思う。発注者側は適正な工期を守りましょうという考え方が浸透しており、基本的には何かあった時には工期を延期しますとか工期変更をしますという方向に発注者側も進んでいると思っている」との回答がありました。



中部地方整備局



出席者

続いて、生産性の向上については、「ICTを習得するには勉強が必要。勉強しながら現場もやっていくという状況。」「ICTに関して、名古屋市内でやっているうちはなかなかドローンも飛ばせない、大きく土を触ることもないのが実情で、ソフトを買ってきて使ってみる機会がない。」「書類の簡素化については、ASPをはじめ書類の電子化により非常に紙ベースが無くなったということでもかなり省力化につながっている。」「書類の簡素化は電子黒板であったり、電子マニフェストであったり普及されてきており、使い勝手が良く、生産性の向上につながっている。」「今回のコロナでWEB会議とリモートとかの機会が増えたので、今後もコロナとは関係なくそういうことが進んでいくと、働き方改革や生産性の向上、移動時間の短縮につながっていくのではないか。」「成果品もそうだし、検査もそうだが電子ということであれば、本当にペーパーレスとなるので、電子に特化していくのかなと感じている。」などの意見が出されました。

中部地方整備局からは、

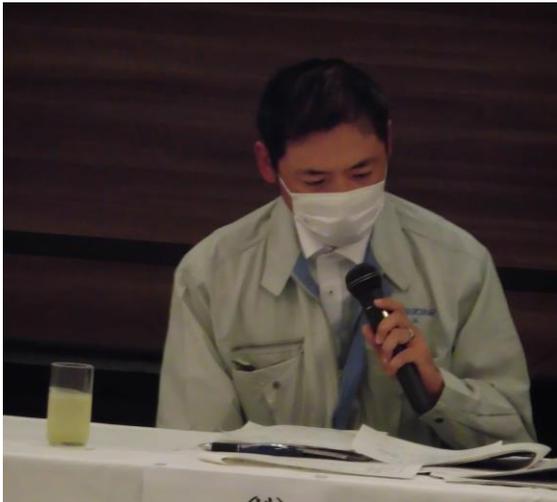
書類の簡素化については、おおむね良い感触だと思っている。受注したらすぐに発注者と受注者でこの書類は電子、この書類は紙という協議をすることになっている。これは必ずやってもらいたい。ウェアラブルカメラについては、すべて公共で負担するので、生産性の向上、コロナによる遠隔というキーワードで是非ウェアラブルカメラを使い、その使い勝手をお知らせ願いたい。」との回答がありました。



出席者



桑技術開発調整官



出席者



出席者



出席者

フリートーキングでは

「現場では判断に困ったとき、所長に画像を見せながら、電話で相談している。コロナの事情から安全確認などは現場に来ることなくフェイスタイムでやっている。不便はなく、むしろ時間が短縮できている。」「働きたくなる職場ということからすると、周りを塀で囲っている今の工事現場を遠目からウェアラブルカメラで見ることができる環境を整えることで、何をしているのだろうと興味を持ってもらうことができ、周囲の反応が変わるので、新しい人材を呼び込むことに効果があると思う。」といった意見が出た。

最後に意見交換の総括として稲葉技術調整管理官から「週休二日はしていかなければいけないというのが皆さんの総意だと感じた。工事着手前の関係者間の調整や設計図書の問題などが片付かないとそのあとの工期がちゃんと取れない。発注者側は着手前に設計図面や協議を整えておくことが重要だと思った。」

「生産性の向上については、65歳以上が26%ぐらいいる。あと10年もしたら、技能者、技術者は高齢になっているので、10%ぐらいはいなくなってしまう。人数が1割減の中で週休二日になれば、7分の5で働かなければならず、人数と時間が減りながら、同じ仕事をこなさなければいけない。したがって、生産性の向上は絶対にしなければならない事柄であり、このため様々な努力を各々の立場でやっていかなければいけないということが答えなのかなと思う。」

「担い手確保では、女性が多く進出してきた。災害時の守り手として担い手の確保に努めたいので、ご協力をお願いします。」とのまとめがあり、意見交換会を終わりました。

出席者名簿(敬称略)

神谷壮一郎	中日建設(株)
岩本 慎吾	大有建設(株)
中田 慎一	鹿島建設(株)
河合 良祐	昭和土木(株)
別所 佳奈	名工建設(株)
近藤 彩乃	矢作建設工業(株)
杉江俊太郎	(株)近藤組
小澤 康弘	(株)加藤建設
鈴木 剛史	中部土木(株)
磯貝 孝宏	太啓建設(株)

中部地方 整備局	稲葉 傑	技術調整管理官
〃	桑 昌司	技術開発調整官
〃	森 隆好	総括技術検査官
〃	松村 昭洋	技術管理課長
〃	大原 和明	技術管理課建設専門官
〃	山下 高明	技術管理課基準第二係長
〃	濱田 和彦	建設産業課長
〃	前田 慶子	建設産業課課長補佐
愛知県	上田 敏隆	建設企画課長
〃	廣瀬 克夫	建設企画課担当課長
〃	佐藤 正裕	〃
〃	松浦 元彦	建設企画課課長補佐
名古屋市	小島 章徳	技術指導課長
〃	森下 直樹	技術指導課指導検査係長

会 長	山田 祥文
副会長	高木 一光
〃	山田 徹
〃	兼岩 孝
〃	濱地 仁
〃	山田 和良